

# OB・OGのロースクール生活

司法試験に一度の挑戦で

合格した先輩はこんなロースクール生活を送っていました



## 〈既修〉大森さんの2年間

大森 楓

関西学院大学法学部法律学科卒業  
2017年4月 関西学院大学法科大学院(既修)入学  
2019年3月 関西学院大学法科大学院修了  
2019年9月 司法試験合格

### ロースクール入学準備

司法試験の概要をつかむ準備期間として活用。

あまり司法試験の知識がなかったため、入門書を読み、各法分野の概要を把握することから始めました。入学前の準備によって、入学後の授業内容をつかみやすくなり、良いスタートが切れました。

2年生

### 予習に注力し、深く理解した状態で授業に臨む。

クラスメイトが担当する問題であっても自分なりに答案を作成するなど、授業の理解を深めるための予習を欠かさず行いました。「憲法演習」では、事実経過や判例の根拠についてわかりやすく学べました。教科書を読んだだけではなかなか理解できない憲法分野への苦手意識を緩和できた科目です。先生一人当たりの学生数が少ない点が、関学ロースクールの特長の一つ。授業後には先生にじっくり質問できるので、分からない部分はすぐに解決することができます。

メリハリのある生活

授業期間中は勉強に追われる日々だったので、夏休みにはリフレッシュの時間を意識的に設けました。日帰り旅行など、屋外での行動時間を増やすことで、モチベーションを回復できました。

3年生

### 司法試験本番を意識して勉強に臨む。

秋学期には1日に2通程度の答案を作成。作成と復習に6時間かかるので忙しくなりましたが、その分自身の成長を実感しました。以前解いた問題に再挑戦することも増え、同じ間違いを繰り返してしまった時は、間違えた内容を付箋に書き、自分のキャレに貼って覚えるようにしました。模擬司法試験にも挑戦。時間など本番と同じ状況で問題を解くことができる貴重な機会でした。課題の残る結果でしたが成績が伸びている実感はあったので、今までの積み重ねを信じ教科書を読み込むスタイルを貫きました。

授業の他にも充実した学びが

土曜ゼミは弁護士の先生に答案を添削していただけます。司法試験合格者の先輩として、ツボを押さえた解答方法などの技術的な点についても教えていただけるため、積極的に活用しました。

ロースクール  
修了後  
司法試験まで

### 今までの努力を信じて。

教科書を読み、問題をいくつも解いていった結果、教材の解説等を参考に友人同士で答案の添削ができるように。他の人の解答を採点する中で「この問題の中で何が重要か」を意識するようになり、出題する側の視点で問題を見る力がつきました。集中して勉強することで不安な気持ちを抑えられるため、試験前日までロースクールで勉強を続けました。学内で先生と会った時のちょっとした会話に励まされたことも、いい思い出です。最終的に「やれることはやった」という自信を持って試験に臨めました。



## 〈未修〉福本さんの3年間

福本 龍之介

近畿大学法学部法律学科卒業  
2015年4月 関西学院大学法科大学院(未修)入学  
2018年3月 関西学院大学法科大学院修了  
2018年9月 司法試験合格

### ロースクール入学準備

視野を広げるため、法律以外の書籍を読んでいました。

政治学や心理学、小説など多彩なジャンルの本を読んで、法律以外の知識を蓄える「準備期間」として過ごしました。入学してからは法学の勉強ばかりになるので、この経験は有意義だったと思っています。

1年生

### 知識不足を感じ、授業の予習に力を入れる。

法学部だったので法律の勉強はしてきたつもりでしたが、授業についていくためにはもっと知識が必要だと痛感。基本書や判例を必死に読んでいたことを覚えています。夏休みも含め毎日ロースクールに通い、自習室を利用していました。毎日学校に通うことで、周りにいる学生が勉強に励んでいる姿から刺激をもらっていました。

時にはリフレッシュも

授業がない時は、映画を見たりジムに行ったりしていました。オンとオフをうまく切替えることで視野が広がり、集中力がつきました。

2年生

### 実践的な学びの場面では、「考える」機会が増える。

2年次になると情報をもとに解決策を考えたり、実際に内容証明郵便を書いたり、知識を得る授業から実務的でアウトプットの多い授業に変わりました。実践的な問題に取り組む中で、予習よりも効果の高い復習中心の勉強法に一新。法律事務所での2週間のエクスターンシップでは自分の力不足に危機感を抱き、今まで以上に勉強に励むようになりました。

3年生

### 弱点をなくし、試験合格に必要な能力を養う。

授業で解いた問題の復習を中心に勉強。土曜ゼミでは自分の間違えた部分を集めた「べからず集」を作成し、自分のつまづきやすいポイントを洗い出していました。友人たちと判例に対する討論を行っていた際に、勉強しても結果の出ない原因が表現力不足にあると気づき、説得力のある表現力に磨きをかけていきました。

充実した学習サポート

関学ロースクールの特徴は、人との距離の近さ。学生同士はもちろん、先生との距離が近く、親身になって教えていただけます。先生に相談しやすい環境が自分にはとてもマッチしていました。

ロースクール  
修了後  
司法試験まで

### 自分に合った方法で合格を勝ち取る。

研修員制度を利用し、修了後も継続してロースクールで勉強していました。3年間の在学期間で、自分にぴったりの学習法を模索し「復習」と「議論」を重視した結果、司法試験合格につながりました。自分には何が足りないのか、大切なものは何か、を理解したうえで勉強することが重要だと思います。